

資料集

1	神奈川県営水道のあゆみ	55
2	県営水道事業の施設概況	56
	(1) 水源	
	(2) 浄水施設	
	(3) 送配水施設	

1 神奈川県営水道のあゆみ

神奈川県南部にある湘南地方は、気候も良く、早くから観光地、リゾート地、住宅地として開けていました。

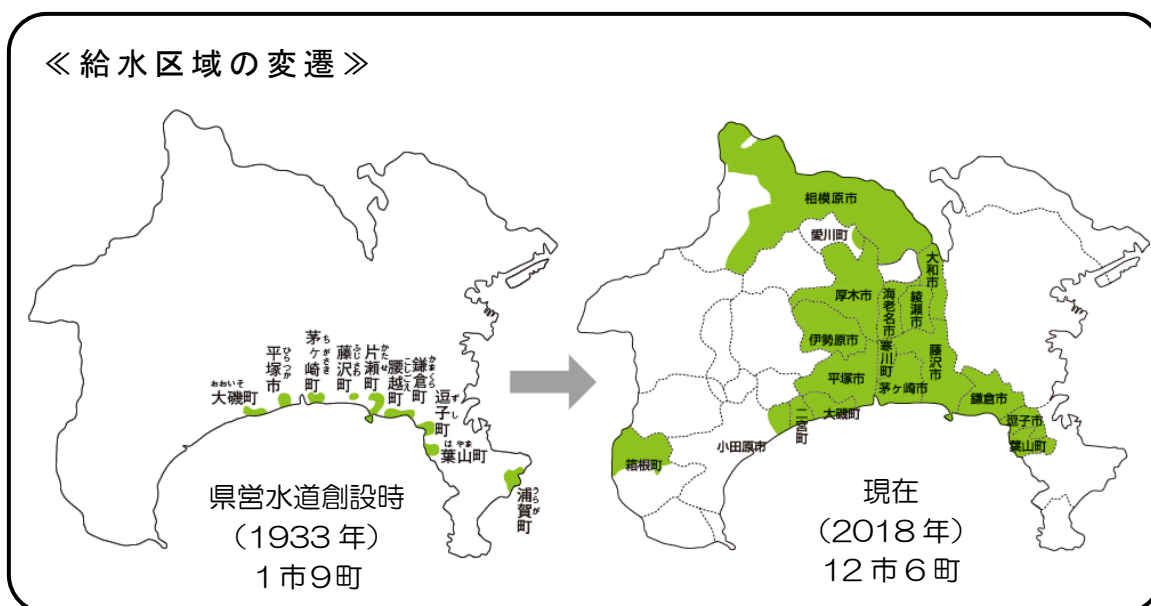
しかし、人口増加と水質の悪化による水不足が問題となり、地元の市町村だけでは水源を確保することができないため、県営による水道事業の実施を県に要望し、県は、地元の市町村の要望を受け、1933（昭和8）年に湘南地区1市9町を給水区域とする広域水道として業務を開始しました。

1940（昭和15）年には、水の確保が困難であった県の中央や相模原地方において県営相模原水道を創設し、1952（昭和27）年の地方公営企業法施行に伴い、両水道を併せ県企業庁が経営を行うこととなりました。

その後、1954（昭和29）年には箱根地区で給水業務を開始するなど順次給水区域を拡大し、2018（平成30）年4月1日現在では、県央・湘南地域を中心に12市6町を給水区域とし、給水戸数133万1,288戸、給水人口281万7,514人、1日最大送水量99万7,583 m^3 の大規模水道となっています。

この間、年々増加する水需要に対処するため、浄水、送水、配水設備等の拡張事業を継続して実施しました。1942（昭和17）年度から1982（昭和57）年度にかけて、第1次から第8次にわたる拡張事業を、また、1983（昭和58）年度から1991（平成3）年度にかけては、相模ダム等の既存水源で安定給水の充実を図るための施設拡充事業を行いました。

さらに、1992（平成4）年度から、宮ヶ瀬ダムによる相模川水系からの新規受水に対応するため第9次拡張事業を実施しました。宮ヶ瀬ダムからの本格受水が2001（平成13）年度に開始されたことにより、県民生活の安定と産業の発展に不可欠な水の安定的な供給が実現しています。



2 県営水道事業の施設概況 (2018年4月1日現在)

(1) 水源

(単位：m³/日)

区分	水源	水量	水利権等				
			内訳				
自己水源	相模川 (寒川)	331,736	創設	107,136			
			総合開発	187,000			
			高度利用 I	37,600			
	相模川 (谷ヶ原)	187,344	創設	7,344			
			河水統制	120,000			
			総合開発	60,000			
	湧水等	36,361	湧水等	大和	3,510	平塚	1,716
				箱根	20,700		
			表流水等	藤野	2,858	相模湖	500
				大山	1,000	津久井	6,077
	計	555,441					
企業団水源	酒匂川	406,600	取水地点	小田原市飯泉			
	相模川	655,600	取水地点	海老名市社家	313,100		
			取水地点	寒川町宮山	342,500		
	計	1,062,200					
合計		1,617,641					

《森林を守る取組》

森林は、降った雨を地下水として貯えてゆっくりと川に流したり、雨水をきれいにしたり、山崩れを防いだりする働きをします。

神奈川県では、良質な水を将来にわたり安定的に確保していくため、水源環境の保全・再生への取組として、ダム水源などを保全する上で重要な県内の森林の区域である

「水源の森林エリア」における私有林の適切な管理・整備を行っており、水源かん養など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」づくりを進めています。



(2) 浄水施設

(単位：m³/日)

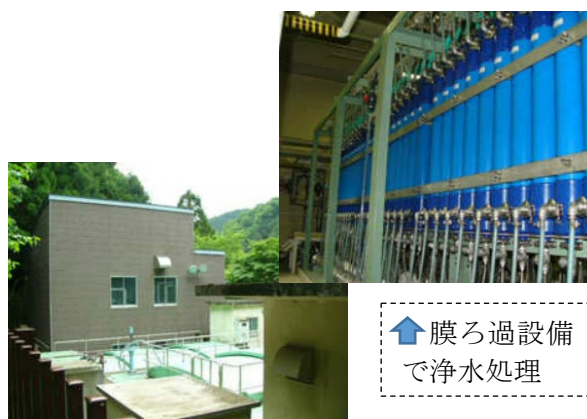
名称	所在地	浄水方法	最大供給量		完成年月	
寒川浄水場	高座郡 寒川町宮山	急速ろ過	315,200	第2・3浄水場 315,200	1974(昭和49)年3月	
谷ヶ原浄水場	相模原市 緑区谷ヶ原	急速ろ過	178,000	146,800	1963(昭和38)年12月	
		緩速ろ過		31,200	1942(昭和17)年2月	
箱根・その他		消毒のみ	35,060	大和(大和)	3,500	—
				平塚(惣領分・吉沢)	1,700	
				箱根(水土野)	12,800	
				藤野(鎌沢、落合、和田)	2,560	
		膜ろ過		相模湖(底沢)	400	
				大山(大山)	1,000	
				津久井(長野)	500	
				箱根(イタリー、品ノ木)	7,200	
急速ろ過	津久井(鳥屋)	5,400				
計		528,260				
企業団受水量			987,900	相模原浄水場	248,900	1974(昭和49)年4月
				伊勢原浄水場	186,000	受水開始
				綾瀬浄水場	234,500	1998(平成10)年7月
				寒川第3浄水場	318,500	2001(平成13)年4月
合計		1,516,160				

注1 最大供給量とは、水利権等を考慮した送水可能な水量を示している。

注2 藤野、津久井、津久井については地区名であり、現相模原市を示す。



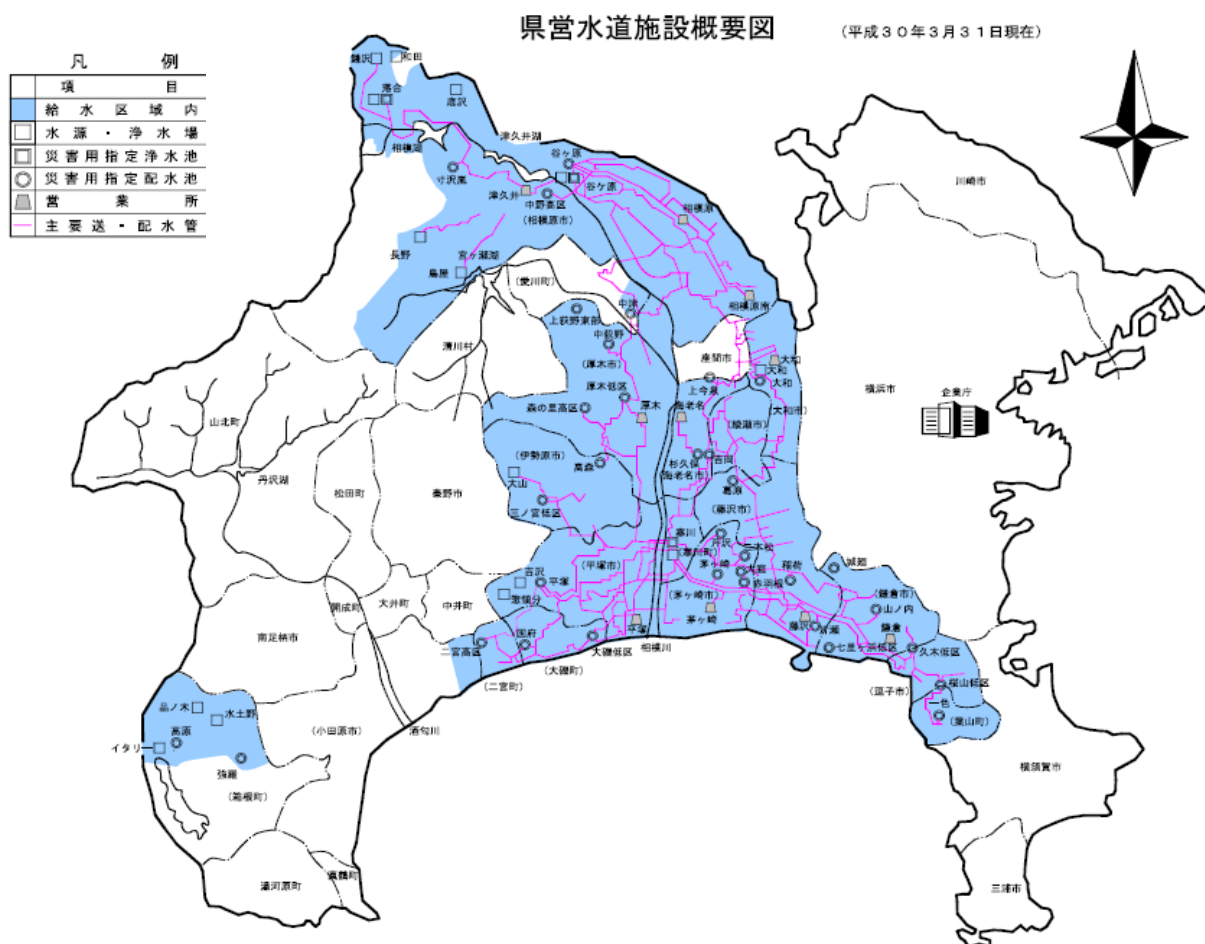
谷ヶ原浄水場



大山浄水場

(3) 送配水施設

名称	数量	備考
配水池	114 か所	総有効貯水量 728,749 m ³
加圧ポンプ所	35 か所	
揚水ポンプ所	59 か所	
送配水管	9,285 km	送水管延長 200 km 配水管延長 9,085 km





県営水道キャラクター



神奈川県

企業庁 企業局 水道部 経営課 経営企画グループ
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話(045)210-7219 (直通) FAX(045)201-3491